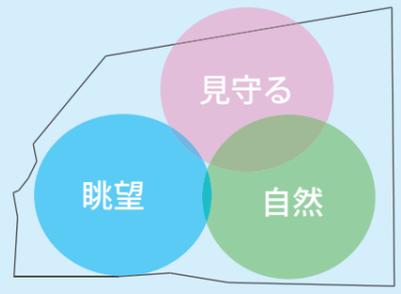


Curved Wall

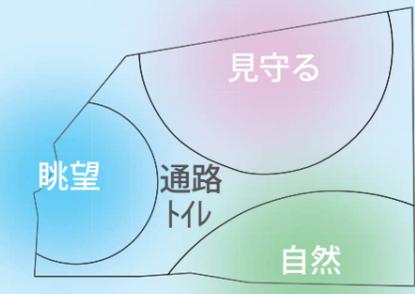
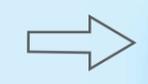
一般的に公園のトイレは遊具等から少し離れた位置にあり、しっかりと覆われた形で建築される事が多いです。しかし、今回は大型のトランポリンに隣接した形で計画されます。また、中城公園は地元・観光客問わず親子で訪れる方が多く、特にこの遊具は人気があるため、日中は多くの方がこの場所で楽しくも大事な家族のコミュニケーションの時間を過ごしています。

本計画では、親も子も楽しく過ごしている良い雰囲気や場所性、地形も含めてこの土地に寄り添う形で、わくわくするようなトイレと休憩所を兼ねそそえた建築物を提案いたします。

ゾーニング



トランポリン遊具を中心に見守るエリアをゾーニングし、眺望と自然の配置を決める



ゾーニングしたものを弧でやさしく仕切り、それにより空いた空間に通路とトイレといった機能をいれこむ。



① 子供からはトランポリンで遊びながら見守るエリアで休憩している親を見る事ができる。



② この場所に来る人にも入りやすい出入口の配置計画。また、遠くからでも眺望エリアが見えるので、休憩場所がここにある事もどこからでも認識できる。



④ 入口が洞窟において入るかのようなわくわく感がある。また、屋上に上ることにより眺望を楽しめ、子供がトランポリンで遊んでる様子をより見守ることができる。



■配置図



■トイレ正面イメージ：トイレをした後はどちらの方向でも出ることができる。



■通路イメージ：弧を描く壁面により奥に進む楽しさがある。また、トイレは視線が奥まで抜ける通路の形になり従来とは異なるプライバシーの確保と防犯性を有している。

断面計画



■基本的には傾斜に沿う形で断面計画し、全体的に高さをなるべく低く抑えてコストカットを狙う。北側の二つの出入口は低い位置から人が上ってくるような形になるので、先端の天井高を高くして引き込みやすい形状にする。南側の出入口は高い位置から入るので、天井高さを低く抑えて、さらにチューブを斜めにカットした形状とする事で圧迫感を無くし、入りやすい計画としている。

■建築概要
 構造：壁式RC造平屋建て 建築面積：85.658㎡(25.91坪)
 延床面積：72.774㎡(22.01坪) 仕上げ：シリコン樹脂系塗装